

Ⅲ.2013年度(平成25年度)予算の概要

平成25年度予算について、その概要を報告いたします。なお、金額は千円未満を四捨五入して示しています。

[1] 資金収支計算

資金収支計算について、その主な内容を報告いたします。

資金収支総括表

(収入の部)		(単位：千円)		
科 目	25年度予算	24年度予算	増 減	
学生生徒等納付金収入	4,405,892	4,537,968	△ 132,076	
手数料収入	55,827	60,579	△ 4,752	
寄付金収入	107,950	106,236	1,714	
補助金収入	1,186,670	1,106,008	80,662	
資産運用収入	32,522	34,341	△ 1,819	
資産売却収入	358,000	1,505,000	△ 1,147,000	
事業収入	222,820	233,023	△ 10,203	
雑収入	129,936	72,104	57,832	
借入金等収入	102,000	109,300	△ 7,300	
前受金収入	490,553	501,763	△ 11,210	
その他の収入	1,159,114	2,125,727	△ 966,613	
資金収入調整勘定	△ 631,499	△ 604,091	△ 27,408	
当年度資金収入合計	7,619,785	9,787,958	△ 2,168,173	
前年度繰越支払資金	2,822,717	2,972,946	△ 150,229	
収入の部合計	10,442,502	12,760,904	△ 2,318,402	
(支出の部)				
科 目	25年度予算	24年度予算	増 減	
人件費支出	4,090,355	4,043,051	47,304	
(教・職員人件費、役員報酬)	3,861,670	3,934,822	△ 73,152	
(退職金支出)	228,685	108,229	120,456	
教育研究経費支出	1,024,915	949,561	75,354	
管理経費支出	390,106	382,524	7,582	
借入金等利息支出	16,481	19,953	△ 3,472	
借入金等返済支出	278,420	279,020	△ 600	
施設関係支出	17,943	248,687	△ 230,744	
設備関係支出	75,591	114,353	△ 38,762	
資産運用支出	1,696,566	3,484,737	△ 1,788,171	
その他の支出	125,144	480,270	△ 355,126	
[予備費]	30,000	50,000	△ 20,000	
資金支出調整勘定	△ 229,313	△ 113,970	△ 115,343	
当年度資金支出合計	7,516,208	9,938,186	△ 2,421,978	
次年度繰越支払資金	2,926,293	2,822,717	103,576	
支出の部合計	10,442,501	12,760,903	△ 2,318,402	
当年度資金収支差額	103,576	△ 150,229	253,805	

住吉、泉ヶ丘両高校及び幼稚園に対する授業料支援補助金や就園奨励費補助金2億7,293万円(前年度比4,698万円増)は、納付金でなく補助金収入に計上しております。それらを含めて比較すると、納付金収入は8,509万円の減額となります。要因は、高校以下では入学者数および在籍予定者数が増加したことにより3,459万円増額を見込みますが、大学においては入学者数および在籍予定者数が減少したため学費の減少を1億1,968万円計上したことによるものです。

大阪府経常費補助金については24年度算定基準により、25年度の生徒数を基に積算し2,121万円の増額を計上しています。納付金収入でも説明しました大阪府の「私立高等学校等授業料支援補助金」は、年収制限が緩和された対象が高校全年となったため4,599万円の増額となります。

その他の固定資産の中の各種引当特定資産組み入れ債券の年度内償還額のみを計上しています。

25年度は、定年退職者8名の退職金財団からの交付金(1億2,440万円)を計上しています。

各種引当特定資産の債券や定期預金満期による繰入収入及び前期末未収入金(24年度退職者の退職金財団からの交付金)を計上しています。

25年度定年退職者分の退職金財団よりの交付金(期末未収入金)及び24年度前受金(前期末前受金)を計上しています。

今年度人事計画に基づく教職員の採用、退職、昇給等を勘案し、本俸、期末・勤勉手当を積算しましたが、25年度については収支の均衡を図るため、手当の一部や役員報酬を減額計上としました。退職金については定年退職者の退職金を計上しています。

法人を含む各学校の経常経費予算編成(施設・設備支出を含む)は、ゼロベースバジェットングを行い、また昨年同様に入試・広報、教育充実、施設充実の3つの分野の法人戦略予算を設け、学生・生徒等の安全を第一優先に、次に入学志願者の増加・中途退学者の減少・就職率の向上に対して予算を配分するなど全体的には抑制的ではあるが費用対効果を考えた限られた予算の有効的配分を行った。また泉ヶ丘高校及び住吉高校において大阪府の「私立高等学校等授業料支援補助金」に伴う法人負担額(標準授業料58万円との差額)を奨学費支出として48,601千円計上する。昨年度まで人件費として支給していた高校以下教員及び職員に対する職員研修費2,824万円については、今年度より経費処理として扱う。また泉ヶ丘中高創立30周年記念事業として2,800万円の事業規模を確保した。

各種引当特定資産の債券満期による繰入れ及び創立100周年引当特定資産へ1億円、また減価償却引当特定資産へ5千万円、退職給与引当特定資産へ1億円を繰入れします。

平成24年度退職金支払による前期末未払金を計上するとともに、平成21年度のリース取引に関する会計処理変更に伴い、平成25年度中に支払うリース資産の金額を計上する。

平成25年度退職金支払による期末未払金を計上する。

(注) 上記の表の金額は千円未満を四捨五入しているため、合計及び増減の数値が計算上一致しない場合があります。以下の表についても同様です。